

## 行政視察レポート

### ■ 総務常任委員会

視察期間 10月23日～25日

☆北海道競馬事務所

競馬事業の運営について

☆北海道栗山町

議会条例制定の経過と効果について

北海道営競馬及び夕張郡栗山町の行政視察並びに、姉妹都市である夕張郡長沼町の表敬訪問をしてまいりました。

先ず、道営競馬ですが、平成14年以降赤字決算であることから運営改善計画を立て、収支均衡となることを存廃の条件として、運営改善に取り組んでいました。岩手競馬を存続するには、県民に理解を求め実現性のある改善計画であることなど道営競馬から学ぶことが多くありました。

次に栗山町の議会基本条例についてであります。住民と共に歩む協働参画型議会を目指した議会報告会の開催等を条例に定め、議会の活性化策として注目に値し、当市議会運営に参考にすべきと感じました。

次に姉妹都市長沼町での表敬訪問は主要施設視察の後、板谷町長

と懇談し、まちづくりに対する町長の姿勢に感服し敬意を表してまいりました。



札幌競馬場

### ■ 教育民生常任委員会

視察期間 11月13日～15日

☆足立区立五反野小学校

☆静岡市教育センター

☆静岡県掛川市

地域福祉の取組について

去る11月13日から15日までの3日間、東京足立区、静岡市、掛川市の行政視察を委員9名で行ってまいりました。特に印象に残ったのは、足立区五反野小学校で取り組んでいる「学校・家庭・地域」が三位一体で進める学校づくりでした。地域の代表者・保護者の代表も加わり学校理事会が構成され、それぞれの目的・目標・役割が明確にされていました。「教育目

標」「地域が望む学校像」「地域が望む教師像（めざせ『スーパーティーチャー』）」「望まれる家庭像」「望まれる児童像」これらに沿った教育理念・目標を三原校長が強いリーダーシップを発揮し、素晴らしい学校運営がなされていたことなど、奥州市にとって参考

にすべき点が多くありました。



掛川市役所にて

### ■ 産業経済常任委員会

視察期間 10月18日～20日

☆愛知県美浜町

産業行政等について

☆愛知県安城市

議会の概要等について

10月18日から20日まで、産業経済常任委員会10名で愛知県知多郡美浜町、安城市及び大府市の行政視察をしてまいりました。まず、美浜町では、農事組合法人「鵜の

味」の運営状況や活性化対策を視察しました。組合員は当初31名が現在では162名、16年度実績3億3000万円、入場者数35万人、共に増加状況でありました。産直、体験農園、農家レストランと一年中楽しめる所が特徴的でした。次に安城市デンパークの運営は、指定管理者制度のもと、農村と都市の共存、観光資源の開発など、都市化が進む安城市ならではの充実した環境に目を見張るばかりでした。次に大府市のげんきの郷はJAの出資施設で、自然の中で遊ぶ学ぶ施設、産直、温泉やレストランがあり、年間220万人の来客という日本一のグリーン・ツーリズムでありました。奥州市は、平泉世界文化遺産登録を間近にし、沢山の人が国内外から訪れ賑わうことを想うとき、大変参考になる行政視察でありました。



美浜町役場にて